

鉄骨の切断・開先加工能力拡大による 鉄骨建設一貫加工・施工体制の強化

Products

取扱い商品

株式会社 安川鉄工建設のこだわり
工期短縮とお客様のニーズにあった製品づくり

当社は、鉄骨建築工事業者として鉄骨一筋、長年の経験で培った信頼と実績により、マンションをはじめ老人ホーム・学校・工場等幅広い施工実績がある。

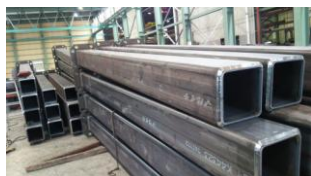
工期短縮とお客様のニーズに合った製品づくりを目指し、最新の機器をいち早く導入しながら社員教育も徹底。

特に最近では関心が高い地震対策に対応し、ピタコラム工法等ソフト・ハード両面において様々な技術向上に取り組んでいる。

環境にやさしく。人にやさしく。



【コラム鉄骨】



BackGround

事業化にいたる経緯・背景

【 今後の受注量拡大に向けた業務の効率化が大きな課題 】

鉄骨建設業界は、震災復興需要、東京オリンピック建設需要、高度経済成長時のインフラ再整備等の受注量拡大に向けた業務の効率化が大きな課題となっている。

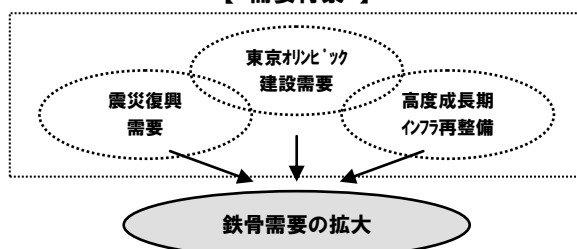
【 加工精度の向上も重要な受注要件に 】

個々の鉄骨部材も大型化する傾向にあり、一貫加工等では、より強固で確実な加工精度が求められる。同時に東日本大震災以降、鉄骨部材寸法、溶接状況等への耐震基準も厳しくなり、益々一貫加工等への精度向上が求められるようになった。

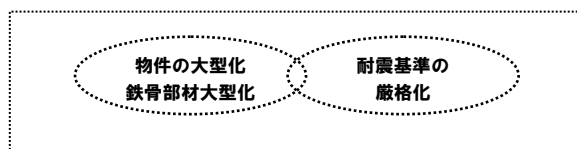
【 切断・開先加工能力拡大による一貫加工・施工体制の強化へ 】

これまで、当社は設計・材料調達・切断・加工・溶接・施工まで一貫体制を整え顧客の期待に応えてきたが、受注量拡大に対応すべく業務の効率化と加工精度の向上に向けて「自動切断機」「開先加工機」を導入し、全生産能力の拡大、短納期対応を実現し、収益の拡大を目指すこととした。

【 需要背景 】



【 受注物件の傾向 】



株式会社 安川鉄工建設

■設立 昭和 44 年 4 月
■事業内容 建築工事業、鋼構造物工事業
■本社所在地 奈良県葛城市忍海 170
■URL <http://roval.co.jp/ram/index.php?R=yasukawatekkoukensetsu>

■資本金 1,000 万円
■従業員数 23 名
■TEL 0745-62-0979
■E-MAIL yasukawa-tk@yacht.ocn.ne.jp



■代表者 代表取締役 安川 孜

当社は、1969年創業以来、建築鉄骨一筋で歩んでまいりました。これも、関係者各位様のお力添えの賜物と深く感謝しております。今後も、社員一同初心を忘れず、真摯な姿勢で取組んでまいります。ご指導とご鞭撻賜ります様宜しくお願い申し上げます。

Contents

事業の概要・成果

- 自動切断機・開先加工機を導入し生産工程のボトルネックを解消
- 一貫体制を強化し、生産効率UPと加工精度も向上

当工場における生産工程のボトルネックであった鉄骨の自動切断・開先加工において、自動切断機・開先加工機を導入し、設計・材料調達・切断・加工・溶接・施工まで一貫体制の強化を図り、工場の全体生産能力を約30%程度向上させることが可能となった。

また、新規設備は旧来設備と比較し、寸法精度や角度精度が2倍以上に向上したため、後工程である溶接作業の精度向上や施工段階での手直し作業の低減等のコスト削減が可能となった。

今後、生産能力向上分の10%は残業削減に、残りの20%を受注拡大にあて、さらなる市場拡大と経営改善につなげていきたい。

【一貫体制における当社のボトルネック】



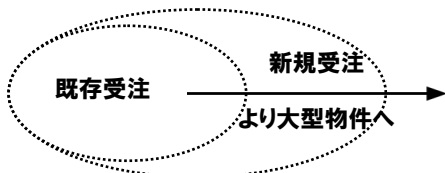
Task

事業化における課題

課題 さらなる市場拡大と経営改善へ

今回の事業により生産能力向上分のうち20%を新規受注拡大努力へ充当し、さらなる経営改善につなげていきたい。

ただ、そのためには従来規模の物件受注にとどまらず、さらに大規模な物件の受注も必要となってくる。



Solution

解決への道筋

施策 鉄骨製作工場評価Hグレード認定へ

(株)全国鉄骨評価機構は、溶接を行う建物構造物規模、使用鋼材等により鉄骨製作工場評価をJ、R、M、H、Sの5段階認定を行っており、当工場は現在のMからHグレード認定取得を目指し、より大型物件受注に向けた環境を整備する。

グレード区分と適用範囲	Mグレード	Hグレード
建物規模	制限なし	制限なし
延床面積	制限なし	制限なし
建物高さ	制限なし	制限なし
鋼材種類	490Nまで	520Nまで
鋼材板厚	40mm以下	60mm以下
渡しダイヤフラム	50mm以下	70mm以下

(株)全国鉄骨評価機構ホームページより作成

Future

今後の事業スケジュール

【年間売上増加目標】

- 設備導入による生産能力向上分の受注確保のため、既存取引先または新規顧客に当社の優位性を訴求し受注獲得努力をしている。
- 平成26年度：1,948万円増目標 ● 平成28年度：4,707万円増目標
- 平成30年度：5,032万円増目標



株式会社 安川鉄工建設